



永 久 保 存

號 年

元 天 也 斗

岐 阜 縣 知 事 官 房

1.01
8
岐阜県立図書館

號 符

號 番 第 七 號 事 記

未 日 記

年

元文四  
未  
日記

御樽木方

御樽木方



元日晴矣

辛卯年元日

正月六

七日晴矣

辛卯年元日

館備付  
1327  
35.12.12  
陝西圖書館

保管轉換

十月廿八

十月廿八日 晴

晴

一 晴  
十月廿八日 晴

晴

十月廿八

一 十月廿八日 晴

一 十月廿八日 晴

十月廿八日 晴

十月廿八

十月廿八 晴

一 十月廿八日 晴

十月廿八日 晴

予也

江戶の事

日吉口 略

一 地獄人

地獄人の事  
江戶の事

日吉口 略

日吉口 略

一年の事

日吉口 略

一 直井... 乃... 乃... 乃...  
如也

一 古... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 年... 乃... 乃... 乃... 乃...  
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

日... 日... 日...

一 年... 乃... 乃... 乃... 乃...  
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

日... 日... 日...

一 半部百虎口百虎  
少部是  
口自是

一 九部女也女  
少部是  
口自是

古年Q山  
少部是  
口自是

一 部  
少部是  
口自是

富  
少部是  
口自是  
少部是  
口自是  
少部是  
口自是

日吉

明人

一子百儀

三子百儀

水部

子部

一

沙用母まゝらぬ妙の字竹山福  
山用母、五毛、しむるをらぬ  
百此片、官別、物美、のまゝらぬ



未

可り書

山用母

沙用傷

山用母

下切

中切

上切

水部

中

上

山用母、明、お色、角、

山用母、明、お色、角、



月廿八日 晴

日廿九日 晴

一 並に... 乃... 也

未... 也

月晦日 晴

二 月... 也

一 月... 也

彈... 也

之... 也



此の世に於ては、  
 少くも年々を公にあらわすに、  
 角に於ては、  
 本年は、  
 少くも年々を公にあらわすに、  
 角に於ては、  
 本年は、  
 少くも年々を公にあらわすに、  
 角に於ては、  
 本年は、

此の世に於ては、  
 少くも年々を公にあらわすに、  
 角に於ては、  
 本年は、  
 少くも年々を公にあらわすに、  
 角に於ては、  
 本年は、  
 少くも年々を公にあらわすに、  
 角に於ては、  
 本年は、

未二

奥平  
 徳川

二月二日

書

一 友の病を志す

友の病を志す  
甲子年

十兩

一 友の病を志す

友の病を志す  
甲子年

十兩

一 友の病を志す

友の病を志す

十兩

一 友の病を志す

一 友の病を志す  
友の病を志す  
甲子年

二月二日

書

一 門和信の定書  
友の病を志す  
甲子年

右記分揚

心内所及分  
新由能信  
直并之公

日六日

晴久

一 并武控儀

三三三

文村

未可也

日六日 初年 高春 後

日六日 晴久

一 初年分文 初年分文

一 初年分文 初年分文

沙我江切判極控女村邊  
十廿八

月七日 晴天

月八日 曇

一 忘申清光之不出劫  
上角市日分  
郵券在日分

一 忘申清光之不出劫  
上角市日分  
郵券在日分  
之別紙お藏  
給書はね  
清光江字  
有之と  
一 忘申清光之不出劫  
上角市日分  
郵券在日分

方... 改... 也

日九日

晴 始書

日十日

晴

一... 又... 始

一... 也

午... 始

也... 始

有...

一... 始

之... 始

日十日

晴 天

二丁書 晴久

一 丁字の字を記す

日十三日 晴久

一 丁字の字を記す

日十三日 晴久

一 丁字の字を記す

一 丁字の字を記す

日十三日

一 丁字の字を記す



二月廿八日 晴

二月廿七日 晴

一  
二月廿六日 晴  
二月廿五日 晴  
二月廿四日 晴  
二月廿三日 晴

二月廿二日 晴

二月廿一日 晴

二月二十日 晴

二月十九日 晴

二月十八日 晴

二月十七日 晴

日十九日

百八

為未年不伐中村止我山の活例年と也  
 山深れは石止らう山は公の定まる  
 山神より山月陽、の石をを定まる  
 石形代官列ゆうさし山神は  
 山神は山神と村下ゆを定まる  
 山神は山神と村下ゆを定まる

未了日也

山神

山神

山神

上中下 山石 山石 山石

山石 山石 山石 山石 山石 山石

山石 山石 山石 山石 山石 山石

山石 山石 山石 山石 山石 山石

山石 山石 山石 山石

同九日

品類入大数

一 是乃修内女方... 空倉大門... 順中...

日出白

一 年... 用...

村上... 乃... 乃... 乃...

一 是... 上...

未...

月廿二日 晴天

月廿一日 晴天

月廿日 晴天

月十九日 晴天

一馬鹿子平の位格を以て其の

一馬鹿子平の位格を以て其の  
田舎者の旁に其の小人  
之物

月廿六日 晴天

月廿七日 晴天

一馬鹿子平の位格を以て其の

一 江戸の町を眺む

月廿八日 晴

一 江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む

一 江戸の町を眺む

月廿九日 晴

一 江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む  
江戸の町を眺む

二月朔日

西人

一乃也後入心經中... 粘也... 少... 何... 少... 何...

了... 送... 中...

日二日

西人

一未... 乃... 也...

心... 日... 卷... 抄... 抄...

ノ古蹟

古蹟

一 南の方集の古蹟は、長年古蹟として  
小東の山にあり、古蹟は、山に入ると、古蹟  
古蹟は、古蹟の古蹟は、古蹟の古蹟は、  
古蹟の古蹟は、古蹟の古蹟は、古蹟の古蹟は、

一 山の方集の古蹟は、長年古蹟として  
小東の山にあり、古蹟は、山に入ると、古蹟  
古蹟は、古蹟の古蹟は、古蹟の古蹟は、古蹟の古蹟は、

一 山の方集の古蹟は、長年古蹟として  
小東の山にあり、古蹟は、山に入ると、古蹟  
古蹟は、古蹟の古蹟は、古蹟の古蹟は、古蹟の古蹟は、

一 山の方集の古蹟は、長年古蹟として  
小東の山にあり、古蹟は、山に入ると、古蹟  
古蹟は、古蹟の古蹟は、古蹟の古蹟は、古蹟の古蹟は、

一未ノ古ノ門ノ記ノ記ノ記

少多記

直平ノ記ノ記ノ記  
直平ノ記ノ記ノ記  
直平ノ記ノ記ノ記  
直平ノ記ノ記ノ記  
直平ノ記ノ記ノ記

方利記

方利記

少多記

少多記

少多記

少多記



却少佳

村上新年  
今也令也

之雁门波

雁门波  
昔乃要也

沙坡又

沙坡又  
方村要也

二月三日

昔乃波要也

日也

也

日也

也

沙坡又  
昔乃波要也

山行記

山行記

山行記

山行記

山行記

一 涉溪谷

一 涉溪谷

一 涉溪谷

一 涉溪谷

一 涉溪谷

一 涉溪谷

一 涉溪谷

一 涉溪谷

今日... 明日... 後日... 後日... 後日...

日七日 西天

日八日 西

日九日 西天... 西天... 西天...

一云... 二云... 三云... 四云... 五云... 六云... 七云... 八云... 九云... 十云...

日十日 西

月十日 晴

一 遊浮屠寺者 浮屠者 姓 王 村 王 改  
之內 貴方 方 浮屠 寺 王 王 王 王

日吉日 晴天

一 午 〇 概 南 也 也 長 德 寺 上 印 什 也  
二 母 以 也 德 寺 方 下 三 也

一 念 德 寺 午 〇 精 又 也 方 德 寺 修 德 也

也 七 五 年 德 寺 也 貴 方 也 修 德 也

日吉日 晴天

一 遊 浮 屠 寺 者 姓 王 村 王 改  
寺 方 之 德 寺 下 三 也 知

小方之使... 湯用長...  
... 湯用長...  
... 湯用長...

... 湯用長...

上知... 湯用長...  
... 湯用長...  
... 湯用長...

一 湯用長...

...

一 湯用長...

...

...

...

一と、山王寺社名

一と、山王寺社名

一と、山王寺社名

一と、山王寺社名

一と、山王寺社名

一と、山王寺社名

一と、山王寺社名

一と、山王寺社名

一と、山王寺社名

一と、山王寺社名

一と、山王寺社名

一と、山王寺社名

一と、山王寺社名

一 本日 諸君 用 志 切 矣 古 語 傳 云 既 以 心 出 之

一 如 山 岳 打 上 氣 乃 是 心 也 心 乃 心 以 守 門 乃 心 之

一 午 〇 此 我 以 此 務 事 為 門 寸 乃 心 應 生 自 如 心 志 三 冊 之 厚 矣 心 志 之 家 事 又 換 清 淨 心 之

一 是 日 之 際 心 乃 下 亦 敢 後 入 心 志 乃 心 志 之 事 也 台 區 証 書 心 志 乃

日十八日 晴天

一 今 亦 獲 心 矣 午 〇 此 乃 心 志 之 事 也

一 日 心 志 乃 心 志 乃 心 志 之 事 也

今亦獲心

也

其九所居表

少夜居

日少所居表

日自居

以符九所居表

一沙所居表... 此大刺板... 右为日... 改之... 法行... 法行... 法行...

法行... 右... 法行... 法行...

月十九日 云

一令... 午... 七... 七... 七...

一... 日... 中... 中...

一... 日... 日... 日...



口

口  
口  
口  
口  
口  
口  
口  
口

口  
口  
口  
口  
口  
口  
口  
口

口  
口  
口  
口  
口  
口  
口  
口

口  
口  
口  
口  
口  
口  
口  
口

一南未の山方中成出信の  
其の中多に長石ありて切替

口  
口  
口  
口  
口  
口  
口  
口

口  
口  
口  
口  
口  
口  
口  
口

一  
口  
口  
口  
口  
口  
口  
口

一  
口  
口  
口  
口  
口  
口  
口

山知事の御返書  
下は上と申す

山知事  
御返書  
下は上と申す  
山知事  
御返書  
下は上と申す

山知事  
御返書  
下は上と申す

山知事  
御返書  
下は上と申す

山知事  
御返書  
下は上と申す

山知事  
御返書  
下は上と申す

山知事  
御返書  
下は上と申す

山知事  
御返書  
下は上と申す

山知事  
御返書  
下は上と申す

上三子正...  
...  
...  
...

一右... 日... 晴...

一... 晴...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

日... 晴...

日... 晴...

日... 晴...

一 波布道内卷... 波布道内卷... 波布道内卷...  
此水之白... 此水之白... 此水之白...  
其程押... 其程押... 其程押...  
此... 此... 此...

一 之... 之... 之...  
... 之... 之...  
... 之... 之...  
... 之... 之...

押... 押... 押...  
... 押... 押...  
... 押... 押...

日本人口... 日本人口...

一 小... 小... 小...  
... 小... 小...  
... 小... 小...  
... 小... 小...

此後之世也... 水原府... 以原... 爲

一古之沃方... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...

一樹... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...

一南方... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...

之... 之...

一 水方教方 印人 嘉 水 都 之 有  
也 法 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 今 之 後 五 未 〇 亦 信 身 中 亦 在  
古 之 學 教 方 之 主 旨 法 也

一 亦 之 所 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
法 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 印 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

此親如母也 依之 以養之  
如母 如父 如子 如孫 如妻 如妾  
如女 如男 如弟 如兄 如友 如仇  
如天 如地 如神 如鬼 如人 如物

明世宗 皇帝

一 今古幾矣 不意 信也 明也 歲  
一 其子 言也 七也 三也 五也

大業 國 年 一 也

日在 八日 西 庚

一 今古幾矣 不意 信也 明也 歲  
一 其子 言也 七也 三也 五也  
一 今古幾矣 不意 信也 明也 歲  
一 其子 言也 七也 三也 五也

月廿九日 晴

一南子... 未... 也... 有... 備...  
防... 之... 也... 也...

一南子... 臨... 時... 也... 也... 也...  
也... 也... 也... 也... 也...

一... 也... 也... 也... 也... 也...

也... 也...

日... 日...

一... 也... 也... 也... 也... 也...  
也... 也... 也... 也... 也...  
也... 也... 也... 也... 也...  
也... 也... 也... 也... 也...



一 觀中仙女法古白鹿飛天不產酥  
身正猶如海下千方石龍獅共笑

一 之原方出水注之通猶若入

四月朔日 每五

一 午之遊我女少安下以系祀其野

玄宮下集

月二日 晴天

月三日 晴天

一 左江多方之仙亦無不注之奇  
乃如村不與橋行高之長日母

二月廿日

晴天

一 午の頃、橋より、  
之、村を、出、渡、り、

あ、は、ら、の、  
あ、は、ら、の、

二月廿日

晴天

一 午の頃、橋より、  
あ、は、ら、の、

あ、は、ら、の、  
あ、は、ら、の、

二月廿日

晴天

一 午の頃、橋より、  
あ、は、ら、の、

二月廿日

晴天

日八日

晴天

日九日

晴天

一南宮川を渡りて又高村邊に泊る  
舟中右岸に日影が長し舟中長

日十日

晴天

日十一日

雨天

一奥平川を渡りて高村邊に泊る  
舟中右岸に日影が長し舟中長  
舟中右岸に日影が長し舟中長  
舟中右岸に日影が長し舟中長

日十二日

雨天



一 空人老花柳日暮收

少年时移花散我及老成后生月

沙月一水有云云 行中事方八

白月如月十九日三三正正物事

未中一十空四物事

中岩 中岩 中岩 中岩

五

中岩 中岩 中岩 中岩

五



一 今抄抄及更  
兼九指及表  
太未子前  
山方  
一 更指  
兼九指

一 若指天儀  
南方  
[unclear]

日出日  
晴天

一 未日山方表儀  
汝水針  
[unclear]

一 白竹短  
印美  
[unclear]

日廿二日  
晴





子... 日... 月... 日... 日...

月... 日... 日...

一... 日... 日... 日... 日...

田... 日... 日... 日...

日... 日...

日... 日...

一... 日... 日... 日...

日... 日... 日...

一... 日... 日... 日... 日...

日... 日... 日... 日...

一... 日... 日... 日... 日...

日... 日... 日... 日...

一... 日... 日... 日... 日...

日廿七

西天

日廿八

西天

一 身首之孫心儀

南子

高少白

未及

經竹靈  
上蔭果

一 未判大雷嗎大父之立月壬午

冰像申到

日廿九

西天

六月朔

西天

六月廿

西天

一 某或控儀

...

...

未及

月二日 晴

日四日 曇

去年の秋は、  
と、  
百、  
未、

中

刻

方

一、  
今、  
何、

汝亦未嘗不...

未  
少  
清  
傷

少  
日  
身  
抱

日  
奇

明天  
子  
年

日  
六

明天  
子  
年

日  
七

明天

日  
八

日  
雲

一  
念  
百  
種  
之  
友

中  
第  
二  
卷  
第  
一  
回

年  
及  
第  
本  
竹  
子  
第  
一  
回

一身之積五  
并武強氣  
身之別一  
清

月九日

晴天

一身之汗氣在午○此皆其初也

清用此法也必八日一為

田道法

指回原不

月十日

晴天

一身之汗氣在午○此皆其初也  
此法也必九日一為  
田道法

一節中傳由信乃内出以人通致其  
以移及信乃乃のいお後沙月其是私  
乃信乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一平の並出辰三信乃

永信乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

月十日 西天

一節中伝乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

日十日 西天

一及乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

おのり子

あま

一合女

足百之病者

少

新

あま

月十日

あま

月十日

あま

日暮

あま

一年の文

あま

あま

一 貞山年 西紀 少事 事 成 成 成 成

日 十八日 晴 天

一 貞山年 西紀 少事 事 成 成 成 成

日 十八日 晴 天

一 南音 少事 門 日 事 成 成 成 成

日 十八日 晴 天

日 十八日 晴 天

日 十八日 晴 天

日 十八日 晴 天

一 沙 海 風 沖 棟 子 記 江 合 林 下 音